失敗しない

脆弱性診断ツール

選定ガイド

―“運用”を見据えた4つの比較ポイントとは？―

本資料の目的

脆弱性診断の内製化を検討する上で、ツールの導入は欠かせません。

しかし、脆弱性診断ツールの導入をお考えのお客様の中には、
「どのような観点で比較したらよいのかわからない」
「何を重視して選ぶべきか迷っている」「そもそもツールごとの違いを把握することが難しい」
といったお悩みを抱えるケースも少なくありません。
また、社内にセキュリティ人材が不足している企業も多く、適切なツールを選定することは容易ではありません。

そこで本資料では、こうしたお悩みを解決するため、ツール導入時に検討すべき4つの視点や、
コストを抑えつつ診断業務を効率化するためのツール選定のポイントをまとめました。

どのツールを選べばよいかお悩みの方、脆弱性診断の内製化を目指している方は、ぜひご一読ください。

脆弱性診断ツールを検討するにあたり、こんなお悩みはありませんか？

やっぱり無料のものから
使ってみるべき？

何を一番重視して
選べばいい？

どれが自分たちの
ニーズを満たしている？

どういう観点で
比較・評価すればいい？

正直、どれも同じに
見える…

なぜ脆弱性診断ツールの選定は難しいの？

多様な診断ツールが存在

特徴が異なる多様なツールがあるものの、専門分野なので、違いの把握が難しい

自社のニーズとの合致が重要

他社にとっての正解が自社にとっての正解とは言い切れない面も

運用を見据えた選定が必要

せっかく導入しても、日々の運用に負荷がかかるとかえってリスクに

脆弱性診断ツール選定時によく検討されるポイント

コスト

ツールの価格は
いくらか

操作性
（工数）

設定や、スキャン実施
からレポート出力までに
どのぐらい時間が
かかるか

診断項目

診断したい項目を
網羅できるか

精度
（誤検知の少なさ）

適切な診断結果を、
安定して得られるか

最近では無料ツールも登場しており、導入を検討したことがある方もいるのでは…？

コストを抑えて導入したとしても、実際に運用するといくつかの課題が…

コスト優先でツールを導入した際に起こりがちな課題

コスト

操作性
(工数)

・設定や準備に時間がかかる
・レポーティングに
手間がかかる

診断項目

ガイドラインに準拠するため
ツールごとの差は少ないが、
自社の基準を満たしているか
確認が必要

精度
(誤検知の少なさ)

・過検知や誤検知が発生
・重複巡回が発生

最も注目したいのは「操作性(工数)」と「精度(誤検知の少なさ)」

操作性（工数）における課題

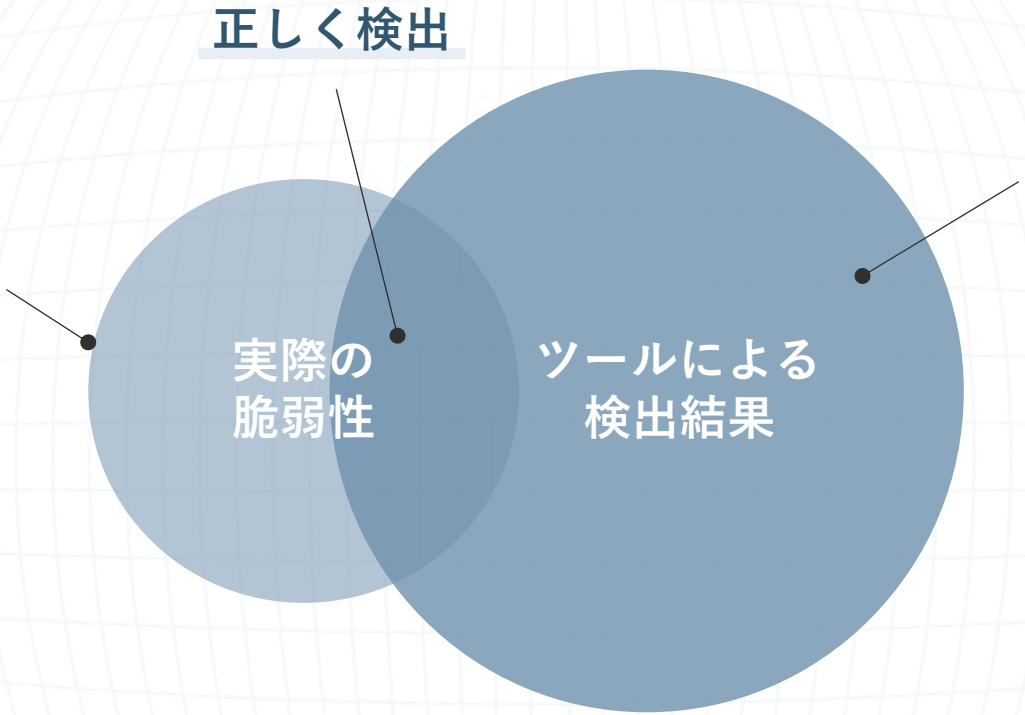
ツール選定に失敗するとこんなところで手間・工数が発生してしまいます

導入	設定準備	スキャン	レポート
• ツール操作の学習（個々の担当者ごと）	• テストシナリオの作成 • パラメータやセッションの引き継ぎ	• 重複巡回によってスキャンが非効率化	• 開発者向けのレポート作成 • 経営者への報告サマリ作成

自動化で業務効率化を図るはずが

トータルの工数がさほど削減できないリスクが

精度における課題



見落とし

実際には脆弱性があるが、
ツールが見逃してしまう

- セキュリティリスクの放置
- 原因究明のための工数が発生

誤検知

実際には問題がない箇所を
脆弱性があると誤って報告

- 誤検知か否かの調査・分析が発生
- 無駄な開発・テスト工数が発生
- 重大な脆弱性の見落としにつながる

見落としのリスクと、
専門知識を持った人による検証が必要になるリスクが

脆弱性診断ツールを選ぶ際に、検討すべき観点は４つ

コストを抑えてツールを導入しても、操作性(工数)と精度を軽視すると運用コストが膨らんでしまいます。人手をかけずに運用できるよう、総合的な観点でツールを選ぶことが大切です。

- コスト(ツール価格)
- 操作性(工数)
- 診断項目
- 精度(誤検知の少なさ)

これらの観点を満たす一例として、
AIを活用したクラウド型Webアプリケーション脆弱性診断ツール
AeyeScanをご紹介させてください！

クラウド型Webアプリケーション脆弱性診断ツール「AeyeScan」とは

学習コストゼロ！ 専門知識・トレーニング不要で導入できる

1

最短10分で診断開始

専門知識は不要！
SaaS環境なので24時間放置しておけます。

お客様

1 スキャン登録

3 結果レポート

AeyeScan

2 自動診断

Webサイト

3

診断結果レポートも自動生成

開発担当にすぐ渡せるレポートが簡単に出力できます。

2

画面遷移図を自動作成

AeyeScanがサイトを自動巡回、診断すべき画面を抽出して画面遷移図を生成します！

AeyeScan（エーアイスキャン）により
セキュリティ対策にかかる **コストを削減！**

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア
No.1※

有償契約
300社以上

※ 富士キメラ総研調べ「2024 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール〈クラウド〉2023年度実績
※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2022年度実績）

プロが認める品質・精度 ＋ ブラウザ上での直感的な操作

セキュリティベンダーやSIerでも
顧客向けサービスとして活用

専任エンジニア不要、情シスや開発部門でも
安定した運用が可能

AeyeScanのポイント

テストシナリオの作成が不要で、設定は最短10分で完了

従来のツール
URLの設定
パラメータ・セッションの手動設定
テストシナリオの手動作成

AeyeScan
URLを入力するだけ！
 1週間かかっていた準備が3、4時間で 終わるようになったというお声も！

AeyeScanのポイント

AI活用のレベルが高いので、自動巡回が高精度で範囲が広い

例： AIによるフォーム入力値の判断処理

課 題

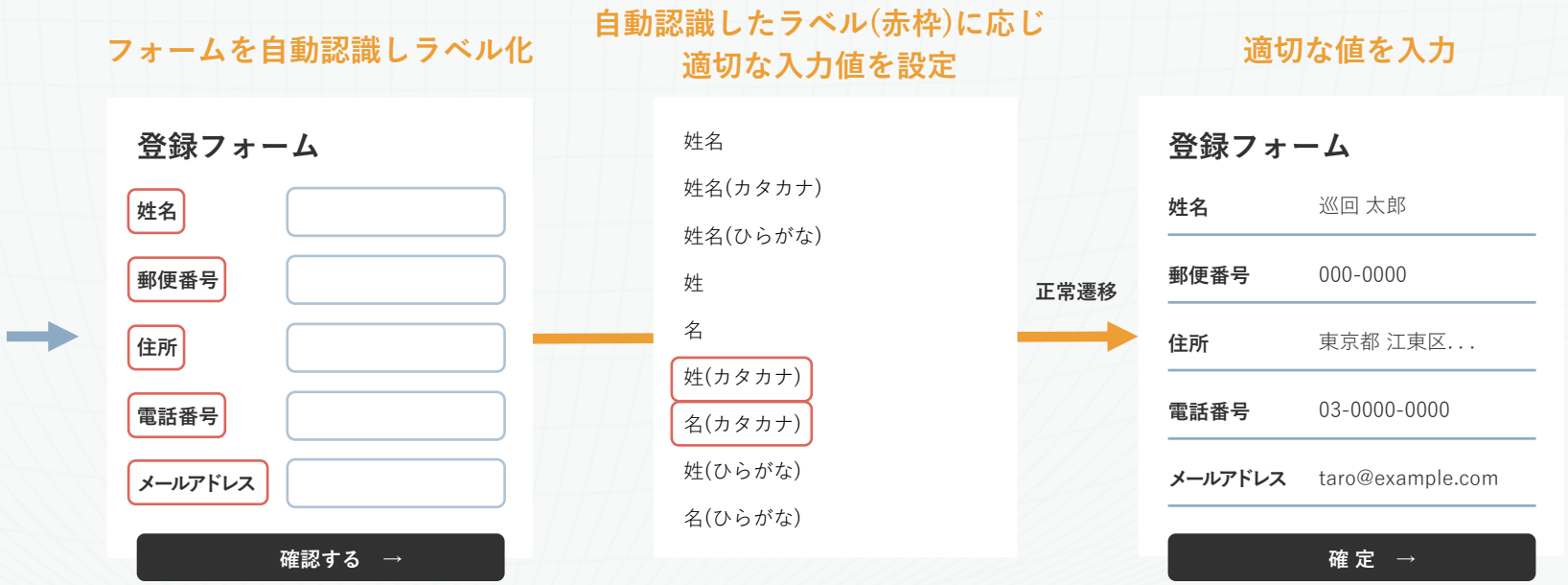
フォーム入力は正しい値を入力する必要がある。
間違えると、入力エラーとなり遷移できず診断が進まない…

AeyeScanなら、
正確に入力値を推測して巡回！

ココがポイント

名前や住所など決まった項目だけでなく、
どんな項目にも対応！

例えば
- クレジットカード
- 画像アップロード



AeyeScanのポイント

各種セキュリティガイドラインの自動化可能な項目に対応

OWASP TOP10

OWASP アプリケーション
セキュリティ検証標準

IPA 安全なWebサイトの作り方

ココがポイント

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施した2021年度セキュリティ製品の有効性検証において、
有識者会議による審査の結果、AeyeScanが選定されました。

AeyeScanのポイント

国内製品ならではの「日本語によるレポート」が自動生成される！

ココがポイント

- どのガイドラインに準拠して検出された項目かがわかる
- どう修正すべきかも記載してあり、そのまま開発者に渡せる
- エグゼクティブサマリも簡単に作成可能

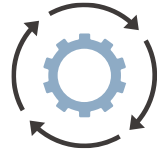
様々な形式でカンタンに
自動生成ができる！

ドメインごとの課金ではなく「定額プラン」での利用も可能

複数のWebサイトを運営していても診断し放題だから…

リリース直前の診断や、
継続的な再診断も
負担なく実施できる

診断を運用サイクルに
組み込みやすく、
チームで取り組める



継続的かつ高頻度な診断により、セキュリティ強化を実現

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造

AISIN
KOSÉ
SAKI
TIGER
TEIJIN
Denkei
Mizuno
ユーグレナ

インフラ

HIS
H.I.S. RETAILING
odakyu
近鉄情報システム株式会社
水ing Swing Corporation
Suzuyo
NANKAI 南海システムソリューションズ
NTT東日本
HITOWA GROUP
grow up together MEDIA
Looop
Loyalty Marketing, Inc.

金融

アイフル
JOBPAY
SOMPOひまわり生命
DMM FinTech
Tokyo Century

メディア

集英社
中日新聞
NIKKEI

人材・教育

Junion
JINSOKEN
Schoo
ZENKIGEN
Direct Sourcing
PERSOL
Leverages
workport

エンタメ

イープラス
CAPCOM
GungHo Online Entertainment, Inc.
とらラボ! TORANOANA LABORATORY

SaaS

Advanced Media, Inc. 株式会社アドバンスト・メディア
estie
M-aid
エムティーアイ
OZ INTERNATIONAL
Classi
COACH A Co., Ltd.
cybozu
Speee
SecureNavi
DMM Boost
TAL
TEMONA
NAVITIME
KNOCK ON THE DOOR
BATONZ
VALUE HR
Finovo
freee
porters
hokan
Money Forward
RUN.EDGE
RVSTA 株式会社リバスタ
Rescuenow

SI・IT企業

Rworks
アクモス 株式会社
AVANT GROUP
Insight Edge
Infcurion
80&Co.
SB Technology
SBWorks
NTT AT
NTT DATA
NTTビジネスソリューションズ
OMRON
Globalway
circlace
さくら情報システム
CEC
GA TECHNOLOGIES
tdi 情報技術開発株式会社
Simplex Inc.
777WORKS 株式会社スリーセブンワークス
SOFT CREATE
SOLTEC
高千穂交易株式会社
電通総研
TOPPAN
JOPS
NHC
PCNET 株式会社パシフィックネット
Human Interactive Technology inc.
FUJISOFT
FUJITSU
MACROMILL
MITSUBISHI ELECTRIC 三菱電機デジタルイノベーション株式会社
YONA
リピスト

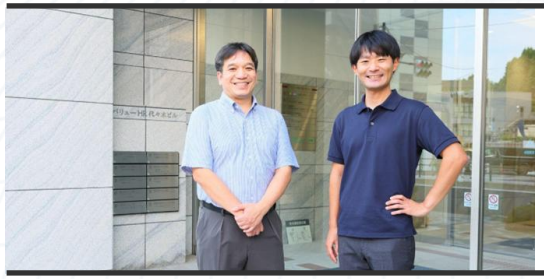
セキュリティ企業

NEC NECセキュリティ
NTT DATA 株式会社NTTデータ先端技術
GSX GLOBAL SECURITY EXPERTS
cybertrust
LAC

社名五十音順（導入いただいた企業様の一部です）会社名及びロゴは各社の商標または登録商標です

導入事例紹介

バリューＨＲ 様



企業名　株式会社バリューＨＲ

事業内容　健康情報のデジタル化サービス・健康管理サービスの提供など

従業員数　680人（2023年12月31日現在）

課題

他社の診断ツールを使っていたが、
多くの時間と工数がかかるほか、
対象範囲をすべてチェックできずにいた

具体的な課題

1. 顧客から求められるセキュリティレベルに応える必要がある
2. 他社ツールでは設定やスキャンに時間がかかり、診断しきれないことも多かった
3. 好きなタイミングでスキャンしたいため、外部委託はできない

機微な個人情報を大量に預かっていることもあり、顧客からも定期的な脆弱性診断の実施状況を問われていた。セキュリティの担保のために他社の診断ツールを導入したものの、時間や工数などの課題が生じ、他のツールを検討することになった。

導入

短時間でスキャンできて使いやすく、
設定も楽なことから導入を決定

導入の背景

1. 以前使っていたツールと比較して設定が簡単
2. スキャン時間が短縮でき、使いやすい
3. OWASP TOP 10に沿って出されるレポートがわかりやすい

普段から付き合いのあるベンダーからの紹介も含め、いくつかの候補を検討する中、短時間でスキャンでき、使いやすいことを重視してAeyeScanを選定。中でも、ユーザーIDやパスワードの仕様を調べて設定する必要がなく、楽だと感じた。

効果

診断にかかる時間・工数が短縮できたほか、
見込み客からのセキュリティに関する質問にも
迅速に回答できるようになった

具体的な効果

1. サービス導入前にセキュリティについて回答することで、営業もしやすくなった
2. 画面遷移図により、自社サービスの構成が把握できるようになった
3. 数日かけても終わらなかった診断が、1日で終わるようになった

AeyeScanの導入で、スケジュールを組んでおけば自動的にスキャンが実施されるようになった。工数や時間が削減できたのはもちろん、導入前にセキュリティ実施状況を伝えられるようになったことで、営業担当者にもメリットが生まれた。

導入事例紹介

マネーフォワード様

企業名　株式会社マネーフォワード

事業内容　PFMサービスおよびクラウドサービスの開発・提供

従業員数　2,400人（2024年5月末日現在）

課題

事業が拡大しプロダクトが増えるにつれ、
脆弱性診断の間隔が空いてしまうことが
懸念材料だった

具体的な課題

1. 外注だとナレッジが蓄積されない
2. 外注だと画面数に応じた料金体系で網羅的な診断を受けづらい
3. 開発が遅れた場合、ベンダーとのスケジュール調整が困難

新機能の追加や大規模な改修の際には脆弱性診断を実施していたが、それ以外はプロダクト側の判断に委ねていた。小さな改修のたびに診断を外注するのではなく、内部で迅速に診断する選択肢も持ちたかった。

導入

診断ツールを導入し
継続できなかった経験から、
使いやすさを重視

導入の背景

1. 自動巡回のカバー率が高く、主要な脆弱性を確実に検出できる
2. グループ会社のプロダクトも診断できるライセンス体系
3. API診断が可能

外国籍エンジニアも多く在籍するため、英語にも対応していること、Slackをはじめとする外部サービスとの連携性も要件だった。複数のツールの比較検討を進め、いくつかのプロダクトを対象に検証を実施した上で選定。

効果

約60プロダクトに診断を実施できた
今後、最低年1回の診断を計画

具体的な効果

1. 画面遷移図により、CISO室がプロダクトの画面を把握できるように
2. 開発者のセキュリティ意識が高まった
3. グループ統一のセキュリティスタンダード適用にも活用予定

ほぼすべてのサービスを内製で開発する中、「セキュリティスペシャリストの活動をAeyeScanがサポートしてくれている」とCISOも評価。セキュリティエンジニア以外に、QAチームでも使用を開始している。

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScanの無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうなの？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み

お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScanへのお問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム

会社概要

商号	株式会社 エーアイセキュリティラボ		
役員	代表取締役社長	青木 歩	
	取締役副社長	安西 真人	
	取締役	杉山 俊春	角田 茜
	執行役員 CTO	浅井 健	
	執行役員	関根 鉄平	田中 大介
事業内容	情報セキュリティ関連事業（調査・コンサルティング） セキュリティ診断クラウドサービス「AeyeScan」提供		
設立	2019年4月		
拠点	東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 11F WeWork内		
資本金	1億円		
従業員数	43名		
Webサイト	https://www.aeyesec.jp/		
取得認証	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） ISMSクラウドセキュリティ認証（ISO27017） 情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト		

AeyeSecurityLab

セキュリティに
「あらたな答え」を提供し続ける
プロ集団

IS 752963 / ISO 27001

CLOUD 790050 / ISO 27017

023-0026-20

セキュリティに、確かな答えを。